



第93回 定時株主総会 招集ご通知

■開催日時

2018年6月22日（金曜日）
午前10時（受付開始：午前9時）

■開催場所

東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目1番1号
ロイヤルパークホテル 3階「ロイヤルホール」
（末尾の会場ご案内図をご参照の上、ご来場下さい。）

■決議事項

第1号議案 取締役9名選任の件
第2号議案 監査役2名選任の件

開催場所が昨年と異なりますので、末尾の会場ご案内図をご参照の上、お間違えのないようご注意ください。

証券コード 5711
2018年5月31日

株 主 各 位

東京都千代田区大手町一丁目3番2号

三菱マテリアル株式会社

取締役社長 竹内 章

第93回定時株主総会 招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第93回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、お繰り合わせご出席下さいますようご案内申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合には、後記の「株主総会参考書類」(5頁～18頁)をご検討の上、「議決権行使のご案内」(3頁～4頁)に従って、以下のいずれかの方法により2018年6月21日(木曜日)午後6時までに議決権を行使いただきたくお願い申し上げます。

【書面(郵送)による議決権の行使】

同封の議決権行使書面に賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに当社に到着するようご送付下さい。(同封の「議決権行使書面・記載面保護シール」をご利用下さい。)

【電磁的方法(インターネット)による議決権の行使】

議決権行使サイト(<https://evote.tr.mufg.jp/>)にアクセスいただき、画面の案内に従って、上記の行使期限までに賛否をご入力下さい。

敬 具

おって、当日ご出席の際は、同封の議決権行使書面を会場受付へご提出下さい。

再 拝

記

1. 日 時 2018年6月22日 (金曜日) 午前10時 (受付開始：午前9時)

2. 場 所 東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目1番1号

ロイヤルパークホテル 3階「ロイヤルホール」

(末尾の会場ご案内図をご参照の上、ご来場下さい。)

開催場所が昨年と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

3. 会議の目的事項

報告事項

1. 第93期 (2017年4月1日から2018年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第93期 (2017年4月1日から2018年3月31日まで) 計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 取締役9名選任の件

第2号議案 監査役2名選任の件

4. 当社ホームページに掲載する事項

- (1) 連結計算書類の連結注記表及び計算書類の個別注記表は、法令及び当社定款の定めに従い、以下の当社ホームページに掲載しておりますので、添付書類には記載しておりません。

なお、監査役及び会計監査人は、連結計算書類及び計算書類として、添付書類に記載の各書類のほか、当社ホームページに掲載している連結注記表及び個別注記表も監査しております。

- (2) 万一、事業報告、連結計算書類、計算書類及び株主総会参考書類の内容について修正をすべき事情が生じた場合は、以下の当社ホームページに掲載して周知いたします。

<http://www.mmc.co.jp/corporate/ja/ir/index.html>

以 上

インターネットによる議決権行使のお手続きについて

議決権行使サイトについて

- (1) インターネットによる議決権行使は、パソコン、スマートフォンまたは携帯電話から、当社の指定する議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスいただくことによるのみ実施可能です。(但し、毎日午前2時から午前5時までは取り扱いを休止いたします。)
- (2) パソコンまたはスマートフォンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合、TLS暗号化通信を指定されていない場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用いただけない場合もございます。
- (3) 携帯電話による議決権行使は、セキュリティ確保のため、TLS暗号化通信及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。
- (4) インターネットによる議決権行使の期限は、**2018年6月21日(木曜日)の午後6時まで**となっておりますが、お早めに行使していただき、ご不明な点等がございましたら下記のヘルプデスクへお問合せ下さい。

インターネットによる議決権行使方法について

- (1) 議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) において、議決権行使書面に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って賛否をご入力下さい。
- (2) 株主様以外の第三者による不正アクセス(“なりすまし”)や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承下さい。
- (3) 株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」及び「仮パスワード」をご通知いたします。

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用(インターネット接続料金等)は、株主様のご負担となります。また、携帯電話等をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話等利用による料金が必要になりますが、これら料金も株主様のご負担となります。

複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い

- (1) 議決権行使書面とインターネットの双方により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効とさせていただきます。
- (2) インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効とさせていただきます。また、パソコン、スマートフォンと携帯電話で重複して議決権を行使された場合も、最後に行われた内容を有効とさせていただきます。

システム等
に関する
お問合せ

三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部 (ヘルプデスク)

☎ **0120-173-027**

受付時間 ▶ 9:00~21:00、通話料無料

機関投資家
の皆様へ

当社株主総会における議決権行使の方法として、(株)ICJが運営する「**機関投資家向け議決権電子行使プラットフォーム**」をご利用いただけます。

● 議案及びその参考事項

第1号議案

取締役9名選任の件

本総会終結の時をもって、取締役全員（9名）は、任期満了となります。当社は昨年12月に当社グループの品質管理に係るガバナンス体制の再構築策を策定し、本年3月には当社グループのガバナンス体制の強化策を策定し、役員及び従業員全員が強い危機意識をもってこれらの施策の実行に一丸となって取り組んでおります。これらの施策を迅速かつ確実に実行し、株主の皆様やお客様そして社会からの信頼を早期に回復することが、当社の企業価値維持のための当社取締役会の至上命題であると同時に、昨年5月に公表した中期経営戦略に基づく諸施策を、継続性をもって推進することが、当社企業価値向上のために必要であると当社は考えております。その前提に基づいて、社外取締役3名を含む当社取締役会が慎重な審議の上で全会一致にて以下の取締役候補者を決定いたしましたので、取締役9名の選任をお願いいたしますと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	当社における地位、担当	
1	たけうち あきら 竹内 章	取締役社長 (全般統理)	再任
2	いいだ おさむ 飯田 修	取締役 副社長執行役員・技術統括本部長 (社長補佐)	再任
3	おの なおき 小野 直樹	取締役 副社長執行役員・経営戦略本部長 (社長補佐)	再任
4	すずき やすのぶ 鈴木 康信	取締役 専務執行役員・金属事業カンパニー プレジデント (アルミ事業・新規事業関係担当)	再任
5	きしかず ひろ博 岸 和博	常務執行役員・セメント事業カンパニー プレジデント	新任
6	しばた まこと 柴田 周	常務執行役員・ガバナンス統括本部長 (環境・エネルギー事業関係担当)	新任
社外取締役候補者			
7	とくのう まりこ 得能 摩利子	取締役	独立役員 再任
8	わたなべ ひろし 渡辺 博史	取締役	独立役員 再任
9	すぎ ひかる 杉 光		独立役員 新任

たけ うち
竹内 あきら
章 (1954年12月4日生)

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1977年 4月 当社入社
2009年 6月 常務取締役
2014年 4月 取締役副社長
2015年 4月 取締役社長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

14,664株

〈担当〉

全般統理

1

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2017年度)

19回／19回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

竹内章氏は、これまで主に総務・人事関係の部署に在籍し、総務部門長や法務部門長を歴任。2009年の常務取締役就任後は、広報・総務・環境・人事・安全衛生・関連事業関係等の担当役員を経て、2015年4月に取締役社長に就任。

当社グループ体制の中核となる数多くの海外事業展開や国内事業再編等を推進し、事業基盤の強化を図ってきた実績を有するとともに、当社全般の業務を統理し、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験と会社経営に関する見識を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

いいだ おさむ
飯田 修 (1957年5月20日生)

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1980年 4月 当社入社
 2013年 4月 常務執行役員・
 銅事業カンパニー プレジデント
 2013年 6月 常務取締役・
 銅事業カンパニー プレジデント
 2014年 4月 常務取締役・
 金属事業カンパニー プレジデント
 2016年 4月 取締役副社長・
 金属事業カンパニー プレジデント
 2016年 6月 取締役 副社長執行役員・
 金属事業カンパニー プレジデント
 2017年 4月 取締役 副社長執行役員・
 技術統括本部長 (現)

〈所有する当社の株式数〉
 8,590株

〈担当〉
 社長補佐

2

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2017年度)
 19回/19回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

飯田修氏は、これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー（現金金属事業カンパニー）製錬部長や直島製錬所長等を歴任。2013年6月の常務取締役就任を経て、2016年4月に取締役副社長、同年6月に取締役 副社長執行役員に就任。

金属事業カンパニー プレジデントとしてリサイクル関連の収益基盤を確立し、2017年4月以降は技術統括本部長として「ものづくり」の改善・革新を推進するなどの実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。



〈略歴及び当社における地位〉

1979年 4月 三菱鉱業セメント(株)入社
2012年 6月 当社執行役員・
米国三菱セメント社 取締役副会長
MCCデベロップメント社 取締役副会長
2014年 4月 常務執行役員・
セメント事業カンパニー プレジデント
2014年 6月 常務取締役・
セメント事業カンパニー プレジデント
2016年 4月 取締役副社長・
セメント事業カンパニー プレジデント
2016年 6月 取締役 副社長執行役員・
セメント事業カンパニー プレジデント
2017年 4月 取締役 副社長執行役員・
経営戦略本部長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

7,923株

〈担当〉

社長補佐

〈重要な兼職の状況〉

(株)マテリアルファイナンス
取締役社長

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2017年度)

19回/19回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

小野直樹氏は、これまで主にセメント事業関係の部署に在籍し、東谷鉱山長や米国三菱セメント社の副会長等を歴任。2014年6月の常務取締役就任を経て、2016年4月に取締役副社長、同年6月に取締役 副社長執行役員に就任。

セメント事業カンパニー プレジデントとして生コンクリート事業との垂直統合を機軸に米国セメント事業を拡大し、2017年4月以降は経営戦略本部長として中期経営戦略に基づく諸施策を推進する等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

すずき やすのぶ
鈴木 康信 (1958年9月23日生)

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1982年 4月 当社入社
2011年 6月 執行役員・
銅事業カンパニー バイスプレジデント
2013年10月 執行役員・
銅事業カンパニー バイスプレジデント
インドネシア・カパー・スメルティング社
取締役副社長
2014年 4月 執行役員・
金属事業カンパニー バイスプレジデント
インドネシア・カパー・スメルティング社
取締役副社長
2015年 4月 常務執行役員・経営戦略部門長
2016年 6月 取締役 専務執行役員・
経営戦略部門長
2017年 4月 取締役 専務執行役員・
金属事業カンパニー プレジデント(現)

〈所有する当社の株式数〉

5,692株

〈担当〉

アルミ事業・
新規事業関係担当

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2017年度)

19回/19回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

鈴木康信氏は、これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー（現金金属事業カンパニー）原料部長やインドネシア・カパー・スメルティング社取締役副社長等を歴任。2015年4月の常務執行役員就任を経て、2016年6月に取締役 専務執行役員に就任。

経営戦略部門長として中期経営戦略を企画・策定し、2017年4月以降は金属事業カンパニー プレジデントとしてルパタ・エスポー社及び同社子会社2社より取得した同社グループの加工品部門とのシナジー効果を追求する等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。



〈略歴及び当社における地位〉

1984年 4月 三菱鉱業セメント(株)入社
 2011年 6月 当社セメント事業カンパニー 生産部長
 2014年 4月 執行役員・九州工場長
 2016年 4月 執行役員・
 セメント事業カンパニー バイスプレジデント
 2017年 4月 常務執行役員・
 セメント事業カンパニー プレジデント(現)

〈所有する当社の株式数〉

5,150株

〈重要な兼職の状況〉

(株)ピーエス三菱 社外取締役

〈取締役候補者とした理由〉

岸和博氏は、これまで主にセメント生産技術関係の部署に在籍し、岩手工場長、セメント事業カンパニー生産部長、九州工場長等を歴任。

2017年4月の常務執行役員就任後は、セメント事業カンパニー プレジデントとして海外事業の再編・強化を推進し、国内事業の競争力を強化するために生産効率の改善を図る等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

しば た
柴田

まこと
周 (1961年7月8日生)

新任



〈略歴及び当社における地位〉

1984年 4月 当社入社
 2013年 4月 資源・リサイクル事業本部
 エネルギー事業部長
 2016年 4月 執行役員・
 環境・エネルギー事業本部長
 2017年 4月 常務執行役員・総務統括本部長
 2018年 4月 常務執行役員・ガバナンス統括本部長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

1,781株

〈担当〉

環境・エネルギー事業関係
 担当

〈取締役候補者とした理由〉

柴田周氏は、これまで主に原子力及び経営企画関係の部署に在籍し、資源・リサイクル事業本部（現環境・エネルギー事業本部）企画管理部長、同事業本部エネルギー事業部長、環境・エネルギー事業本部長を歴任。

2017年4月の常務執行役員就任後は、総務統括本部長としてグループ全体のコミュニケーションの活性化や多様な働き方を支援する制度を整備する等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

6

社外取締役候補者

とく のう まり こ
得能 摩利子 (1954年10月6日生)

独立役員

再任



〈略歴及び当社における地位〉

- 1994年 1月 ルイ・ヴィトン・ジャパン(株)
(現ルイ・ヴィトンジャパン(株)) 入社
- 2002年 4月 同社シニアディレクター・セールス
アドミニストレーション
- 2004年 3月 ティファニー・アンド・カンパニー・
ジャパン・インク ヴァイスプレジデント
- 2010年 8月 クリスチャン・ディオール(株)
代表取締役社長
- 2013年 9月 フェラガモ・ジャパン(株)
代表取締役社長兼CEO
- 2016年 6月 当社取締役 (現)

〈所有する当社の株式数〉
603株

〈重要な兼職の状況〉

(株)ハピネット 社外取締役
ヤマトホールディングス(株)
社外取締役

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2017年度)

19回/19回 (100%)

〈社外取締役候補者とした理由等〉

得能摩利子氏は、国際的大手企業の日本法人における経営者としての豊富な経験から、国際企業戦略及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。また、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって2年となります。

〈兼職先との取引関係等〉

- (1) 当社と(株)ハピネットとの間に取引関係はありません。
- (2) 当社とヤマトホールディングス(株)との間に取引関係はありません。当社は、同社の特定子会社であるヤマト運輸(株)等との間に製品輸送委託等の取引関係がありますが、その取引額は当社の連結売上高の1%未満であります。

〈その他特記事項〉

得能摩利子氏が当社の社外取締役として在任中、当社の連結子会社である三菱電線工業(株)、三菱伸銅(株)、三菱アルミニウム(株)、立花金属工業(株)及び(株)ダイヤメットにおいて、過去に製造販売した製品の一部について、検査記録データの書き換え等の不適切な行為によりお客様の規格値または社内仕様値を逸脱した製品等を出荷した事案が判明しました。

同氏は、当該事案が判明するまで、当該事案を認識しておりませんでした。日頃から当社取締役会等においてガバナンス体制強化の視点に立った発言を行ってまいりました。当該事案の判明後は、特別調査委員会の委員長として、事実関係の調査、原因の究明及び再発防止策について提言を行うなど、ガバナンス体制の更なる強化に努めております。

社外取締役候補者

わた なべ ひろ し
渡辺 博史 (1949年6月26日生)

独立役員

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1972年 4月 大蔵省（現財務省）入省
 1998年 7月 同省大臣官房審議官
 同省大臣秘書官
 2001年 7月 同省大臣官房審議官
 2002年 7月 同省国際局次長
 2003年 1月 同省国際局長
 2004年 7月 同省財務官
 2007年 7月 同省顧問
 2007年10月 公益財団法人国際金融情報センター 顧問
 2008年 4月 一橋大学大学院商学研究科 教授
 2008年10月 (株)日本政策金融公庫 代表取締役副総裁
 2012年 4月 (株)国際協力銀行 代表取締役副総裁
 2013年12月 同社代表取締役総裁
 2016年10月 公益財団法人国際通貨研究所 理事長(現)
 2017年 6月 当社取締役(現)

〈所有する当社の株式数〉
 447株

〈重要な兼職の状況〉
 公益財団法人国際通貨研究所
 理事長

8

〈取締役会の出席回数及び出席率〉(2017年度)
 16回/16回 (100%)

〈社外取締役候補者とした理由等〉

渡辺博史氏は、財務省の要職及び政府系金融機関の経営者を歴任された経験から、国内外の金融・経済及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。また、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって1年となります。

〈兼職先との取引関係等〉

当社と公益財団法人国際通貨研究所との間に取引関係はありません。

〈その他特記事項〉

渡辺博史氏が当社の社外取締役として在任中、当社の連結子会社である三菱電線工業(株)、三菱伸銅(株)、三菱アルミニウム(株)、立花金属工業(株)及び(株)ダイヤモンドにおいて、過去に製造販売した製品の一部分について、検査記録データの書き換え等の不適切な行為によりお客様の規格値または社内仕様値を逸脱した製品等を出荷した事案が判明しました。

同氏は、当該事案が判明するまで、当該事案を認識しておりませんでした。日頃から当社取締役会等においてガバナンス体制強化の視点に立った発言を行ってまいりました。当該事案の判明後は、特別調査委員会の委員として、事実関係の調査、原因の究明及び再発防止策について提言を行うなど、ガバナンス体制の更なる強化に努めております。

社外取締役候補者

すぎ
杉

ひかる
光 (1950年5月1日生)

独立役員

新任



〈略歴〉

1974年 4月 日本電装(株) (現(株)デンソー) 入社
2002年 6月 同社取締役・冷暖房事業部長
2004年 6月 同社常務役員・冷暖房事業部長
2005年 6月 同社常務役員・熱機器事業本部長
2008年 6月 同社専務取締役・技術開発センター長
2011年 6月 同社専務取締役
デンソー・インターナショナル・アメリカ(株)
社長兼CEO
2013年 6月 (株)デンソー 取締役副社長
デンソー・インターナショナル・アメリカ(株)
社長兼CEO
2014年 6月 (株)デンソー 顧問技監
2016年 6月 同社顧問 (2017年6月退任)

〈所有する当社の株式数〉

1,000株

〈社外取締役候補者とした理由等〉

杉光氏は、開発・設計から製造工程や品質管理に至るまで、幅広い分野における技術的な知見を有するとともに、世界各地で事業を展開するメーカーの経営者としての豊富な経験から、国際企業戦略及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。

〈兼職先との取引関係等〉

当社は、(株)デンソーとの間に電気銅の販売等の取引関係がありますが、その取引額は当社の連結売上高の1%未満であります。

- 注1：各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
- 注2：各候補者の所有する当社の株式数には、三菱マテリアル役員持株会における本人の持分数を含めております。
- 注3：得能摩利子、渡辺博史、杉光の各氏は、社外取締役候補者であります。
- 注4：取締役会については、各候補者の取締役会の出席回数及び出席率において記載している開催回数のほか、会社法第370条及び当社定款第27条第3項の規定に基づき、取締役会決議があったものとみなす書面決議が1回、会社法第372条第1項の規定に基づく取締役及び監査役への通知が3回ありました。
- 注5：渡辺博史氏の取締役会の出席回数及び出席率につきましては、2017年6月28日の取締役就任後に開催された取締役会を対象としております。
- 注6：当社は、会社法第427条第1項の定めにより、定款において、取締役（業務執行取締役等である者を除く。）との間で損害賠償責任を限定する責任限定契約を締結することができる旨の規定を設けております。これにより、当社は、得能摩利子、渡辺博史の両氏との間で、責任限定契約を締結しており、また、新任の社外取締役候補者である杉光氏が社外取締役に就任した場合には同氏と責任限定契約を締結する予定ですが、その内容の概要は、以下のとおりであります。なお、本議案が承認可決され、得能摩利子、渡辺博史の両氏が社外取締役に就任した場合、当該責任限定契約は、引き続き効力を有するものとしております。
- ・会社法第423条第1項の責任について、取締役（業務執行取締役等である者を除く。）が職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として当社に対し損害賠償責任を負うものとし、その損害賠償責任額を超える部分については、当社は、当該取締役を免責する。
- 注7：当社は、得能摩利子、渡辺博史の両氏を、(株)東京証券取引所の規定に基づく独立役員（一般株主と利益相反が生じるおそれのない社外役員）として、同取引所に届け出ております。また、杉光氏を、独立役員として、同取引所に届け出る予定であります。

第2号議案

監査役2名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役 内海暎郎、笠井直人の両氏は任期満了となりますので、監査役2名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

社外監査役候補者

かさ い なお と
笠井 直人 (1962年11月17日生)

独立役員

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1990年 4月 弁護士登録
柏木総合法律事務所入所
1995年 4月 笠井総合法律事務所入所
2006年 1月 笠井総合法律事務所 代表弁護士 (現)
2010年 4月 第二東京弁護士会 副会長
2014年 6月 当社監査役 (非常勤) (現)
2018年 4月 第二東京弁護士会 会長 (現)
日本弁護士連合会 副会長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

0株

〈重要な兼職の状況〉

笠井総合法律事務所
代表弁護士
第二東京弁護士会 会長
日本弁護士連合会 副会長

〈監査役会の出席回数及び出席率〉

16回/17回 (94%)

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2017年度)

19回/19回 (100%)

〈社外監査役候補者とした理由〉

笠井直人氏は、弁護士としての長年の経験から、法律知識に基づいた幅広い見識を有しており、社外監査役として経営の監視を適切に行っていただけのもので選任をお願いするものであります。なお、同氏は、直接企業経営に関与した経験はありませんが、企業法務の実務経験が豊富であり、企業経営に関する十分な見識を有していることから、社外監査役として適任であると判断しております。また、同氏の社外監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって4年となります。

〈兼職先との取引関係等〉

- (1) 当社と笠井総合法律事務所との間に取引関係はありません。
- (2) 当社と第二東京弁護士会との間に取引関係はありません。
- (3) 当社と日本弁護士連合会との間に取引関係はありません。

〈その他特記事項〉

笠井直人氏が当社の社外監査役として在任中、当社の連結子会社である三菱電線工業(株)、三菱伸銅(株)、三菱アルミニウム(株)、立花金属工業(株)及び(株)ダイヤモンドにおいて、過去に製造販売した製品の一部について、検査記録データの書き換え等の不適切な行為によりお客様の規格値または社内仕様値を逸脱した製品等を出荷した事案が判明しました。

同氏は、当該事案が判明するまで、当該事案を認識しておりませんでした。日頃から当社取締役会等においてガバナンス体制強化の視点に立った発言を行ってまいりました。当該事案の判明後は、事実関係の調査、原因の究明及び再発防止策について提言を行うなど、ガバナンス体制の更なる強化に努めております。

社外監査役候補者

わかばやし たつ お
若林 辰雄 (1952年9月29日生)

独立役員

新任



〈略歴〉

- 1977年 4月 三菱信託銀行(株)
(現三菱UFJ信託銀行(株)) 入社
- 2008年 6月 同社常務取締役
- 2009年 6月 同社専務取締役
- 2010年 6月 同社専務取締役・受託財産部門長
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
常務執行役員・受託財産連結事業本部長
- 2011年 6月 三菱UFJ信託銀行(株) 専務取締役
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役
- 2012年 4月 三菱UFJ信託銀行(株) 取締役社長
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役
- 2013年 4月 三菱UFJ信託銀行(株) 取締役社長
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役副会長
- 2013年12月 三菱UFJ信託銀行(株) 取締役社長兼取締役会長
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役副会長
- 2015年 6月 三菱UFJ信託銀行(株) 取締役社長兼取締役会長
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役 代表執行役副会長
- 2016年 4月 三菱UFJ信託銀行(株) 取締役会長
兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役
- 2016年 6月 三菱UFJ信託銀行(株) 取締役会長(現)

〈所有する当社の株式数〉
0株

〈重要な兼職の状況〉

三菱UFJ信託銀行(株)
取締役会長

2

〈社外監査役候補者とした理由等〉

若林辰雄氏は、金融機関の経営者としての豊富な経験から、財務・会計及び経営全般に関する見識を有しており、社外監査役として経営の監視を適切に行っていただけるものとして選任をお願いするものであります。

〈兼職先との取引関係等〉

当社は、三菱UFJ信託銀行(株)との間に年金資産の運用委託等の取引関係があります。また、同社との間に資金の借入及び同社に対する債務保証の取引関係がありましたが、同社の法人貸出等業務は、2018年4月16日付で(株)三菱UFJ銀行に移管されたため、現在は三菱UFJ信託銀行(株)との間に当該取引関係はありません。

- 注1：両候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
- 注2：笠井直人、若林辰雄の両氏は、社外監査役候補者であります。
- 注3：取締役会については、笠井直人氏の取締役会の出席回数及び出席率において記載している開催回数のほか、会社法第370条及び当社定款第27条第3項の規定に基づき、取締役会決議があったものとみなす書面決議が1回、会社法第372条第1項の規定に基づく取締役及び監査役への通知が3回ありました。
- 注4：当社は、会社法第427条第1項の定めにより、定款において、監査役との間で損害賠償責任を限定する責任限定契約を締結することができる旨の規定を設けております。これにより、当社は、笠井直人氏との間で、責任限定契約を締結しており、また、新任の監査役候補者である若林辰雄氏が監査役に就任した場合には同氏と責任限定契約を締結する予定であります。その内容の概要は、以下のとおりであります。なお、本議案が承認可決され、笠井直人氏が監査役に就任した場合、当該責任限定契約は、引き続き効力を有するものとしております。
- ・会社法第423条第1項の責任について、監査役が職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として当社に対し損害賠償責任を負うものとし、その損害賠償責任額を超える部分については、当社は、当該監査役を免責する。
- 注5：当社は、笠井直人氏を、(株)東京証券取引所の規定に基づく独立役員（一般株主とは利益相反が生じるおそれのない社外役員）として、同取引所に届け出ております。また、若林辰雄氏を、独立役員として、同取引所に届け出る予定であります。

以上

第93回 定時株主総会 会場ご案内図

会場 **ロイヤルパークホテル 3階「ロイヤルホール」**
 東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目1番1号 TEL.03-3667-1111(代)
開催場所が昨年と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。



交通	東京メトロ	水天宫前駅 (半蔵門線) 人形町駅 (日比谷線)	4番出口直結 A2出口 より 徒歩約7分
	都営地下鉄	人形町駅 (浅草線)	A3出口 より 徒歩約9分

※人形町駅「A1出口」は、工事のため閉鎖されておりますので、ご注意ください。
 ※お車でのご来場はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

経営説明会や株主懇談会等の催しは、昨年から取り止めとさせていただきます。
 何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。